

# Navi

Navi

- ① 未来は楽しいーランドスケープアーキテクトの仕事ー
- ② 海外と日本を結ぶスペシャリストー通関士の仕事ー

Vol.

188

2023.10

# ① 未来は楽しい

## — ランドスケープアーキテクトの仕事 —

清教学園保護者(ランドスケープアーキテクト)

ペンションでパンを焼きたい、そう思った。ペンションが必要ならばその建物が必要だと思った。建物があるならば建築するということかと思った。それならば建築学科なのか、そうして私の大学志望学部と学科が決まった。

信じられないかもしれないけどキッカケなんてそんなものでした。無事に建築学科に入って建築計画、設備計画、デザイン演習、構造力学、建築史、多くの専門学を学ぶことになりました。将来進むべき道は、建築を設計するデザイナーではありました。しかし、バブル時期を越えたその時期は、できないものはない、つまり、デザイン形態など自由に煩雑になんでも建築可能な時代で、自分にとっては何をどうしていくのが建築なのか分からなくなってきてしまったのです。

ところがそんな矢先、大学3年の冬、都市計画論を勉強している時に、「ランドスケープ」という用語が出てきたのです。これがまさに転換点。この言葉が仏像の背後にある後光のようにピカピカと光っていたのです。その日に、この言葉の世界は何なのか、知りたいという衝動に駆られ、建築専門の本屋に駆け込み、まだ少なかった専門書を棚から取っては開きを繰り返し、一つの会社にたどり着きました。あれをしたいこれをしたい、だからこの会社、この職業、と決めたわけではありません。このランドスケープという世界がどうも気になってしょうがない、ただ自分の気持ちに素直に、そして何かに寄せられるようにして「ランドスケープアーキテクト」の道へ進むことになったのです。

さて、この職業、日本語で言い換えると造園の計画・設計といい、公園、学校、マンション、ホテル、工場、街路などを対象に、緑のある豊かな屋外空間を作りあげる専門的な仕事です。具体的な作業内容は空間全体のコンセプト立案、デザインのスタディ、舗装材の仕様・樹種選定や配置など様々な検討を行います。この職業を是非検索して調べてみてください。言葉で伝えるよりも、実際にできる空間を画像で見えていただくととてもわかりやすいと思います。この仕事における喜びの一つは、完成した空間を自分の目で見ることや、その場を利用する人々の姿を見ること、そしてその空間ができるだけ長く使い続けられることが挙げられます。また、『良い空間を作りたい』と思いを共にする関係者と気持ちよく前向きに仕事のプロセスを踏めた時も楽しみの一つになります。

ではどのようにしてこのような素晴らしい職業に出会えるか？自分が好きなこと、楽しいこと、何かわからないが気になること、

ということ、少しでも興味があるんだよということなど、自らの気持ちや好奇心に素直に従ってまずは行動してみても良いでしょう。友達に誘われたイベントや講演会、学校で紹介された講座、インスタグラムやLINEの楽しそうな画像、新聞やチラシの面白そうなコンサートやお祭り、一人旅など、行動に移せるきっかけはそこら辺にたくさんあります。自分の目で実際のものを見て、自分の身体で体感してみてください。本当にしたい夢や目的があるならば、心から強く念じて、いつも周りの人に、ああしたい、こうしたいと声をあげてみて欲しいです。そうすると自分のところにそのしたいことの情報が少なからず集まってくる、なぜか呼び込んでくる、嘘だと思ってそうしてみてください。行動に移してからはすぐに諦めたり、やめたと音を上げるのではなく、ちょっとだけ我慢して忍耐強く継続すると、良いこと悪いこと、自分ができないことやれること、自分の身体に合うこと合わないこと、自分には好きになれない好きになれることなど、必ず発見があり自分にとって収穫となり、将来の糧になります。私はそうして今日までこの職業を通じて人生を歩んできました。

私の究極の夢は、紙とペンを持って世界中のどこでも今の仕事をし続けることです。是非、今を生きて自分の未来を作ってください!楽しんで!



## ② 海外と日本を結ぶスペシャリスト

### — 通関士の仕事 —

清教学園保護者(通関士)

関西国際空港で通関士として働いています。

空港というと旅客ターミナルの華やかなイメージを思い浮かべる人も多いと思いますが、国際貨物地区は旅客ターミナルからは離れた立入証明がないと入れない制限区域にあります。

通関とは貿易の仕事の一つで、貨物は船や飛行機で運ばれます。大きく分けて輸出と輸入があり、私は輸出通関を担当しています。通関士の仕事内容は、例えば商社やメーカーなどが貨物を輸出又は輸入しようとする時に、その代理又は代行を行うことです。具体的には貨物の品名、数量、価格等必要な事項を税関長に申告し、許可を受けることです。この手続は、本来は輸出入者が自分で行えますが、手続には専門的な知識を必要とすることから通関士が依頼を受けて行っています。

輸出の品は多岐にわたりますので、広く世の中の商品を知っておいた方が業務に役立ちます。みなさんは宝石の「カラット」という言葉を聞いたことがあるでしょうか?何となく、輝きを表しているのかな?という人もいるかもしれません。実は重さの単位で1カラットは0.2グラムを表しています。仕事を始めてから必要なので覚えました。おもちゃ屋さんで現在の人気商品を知るだけでも業務に役立つことがあります。

また、輸出品が核兵器やミサイル開発に転用されないかななどの国際的な平和と安全の維持のため、法令順守には厳格に取り組んでいます。例えばゴルフクラブのシャフトに使われている炭素繊維が、ミサイル構造部品に転用される可能性もあります。また、腕時計のベルトに爬虫類の皮革製品が使用されている場合、ワシントン条約(絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約)に該当するものの可能性もあるため注意が必要です。このように商品知識に加えて法令や条約なども身に着ける必要があります。

書類は全て英語ですし、外国人のお客様と電話でやりとりすることもありますので英語の知識が多い方が役に立ちます。基本的なパソコンスキル(Excelやパワーポイント、マクロなど)もあった方がいいと思います。ペーパーレスの流れから書類も紙ではなく画面上に表示させて審査を行う関係上、目がとても疲れやすくなりますので個人的には目薬は欠かせません。

飛行機は夜間であっても飛ぶますので、順調に配達が完了して「もう着いたの!」と喜びの声をいただけることがあり、うれしく思い、またやりがいを感じることができました。新型コロナウイルス感染症で海外に行けなかった時期に、何かのコンクールに応募するDVDを扱ったときには、この方の夢と希望がつまっているという責任を感じ、思わず身の引き締まる思いをしました。

通関士試験は国家試験で、年に1回行われます。受験に際し学歴、年齢、経歴、国籍等についての制限はありません。通信講座で目にすることもありますし、大学生のお勧めの資格の一つとして紹介されています。

拙い文章ですが、私の職業について紹介しました。みなさんに少しでも伝わるものがあれば嬉しく思います。

